

第6回 東京国際空港再拡張事業に係る環境監視委員会
議事概要

【開催日時】	平成22年 8月30日（月） 15：00～16：20
【議 題】	1. 工事状況について 2. 東京国際空港再拡張事業に係る環境監視調査計画 存在・供用時について 3. 今後の予定について
【出席者】	清水委員長、猿田委員、時田委員、古川委員、東京都、千葉県、神奈川県、東京空港整備事務所、東京航空局、東京空港事務所
【開催場所】	羽田空港第一ターミナルビル 6F ギャラクシーホールC
【資料】	資料-1 東京国際空港再拡張事業に係る環境監視調査結果 工事中および存在・供用時の対比

1. 開会挨拶

2. 委員長挨拶

3. 議 事

3-1 工事状況について

[資料説明]：事務局より、工事の進捗状況について説明。

3-2 「東京国際空港再拡張事業に係る環境監視計画（存在・供用時）」について

[資料説明]：事務局より、「東京国際空港再拡張事業に係る環境監視計画（存在・供用時）」の説明をした。

委 員：事後調査において、地上波アナログ放送を対象に調査期間は放送停波までとしているが、地上波デジタル放送は対象としないのか。

事務局：環境影響評価書に記載しているとおり、地上デジタル放送については航空機の運航による影響は極めて少ないものと考えられる。D滑走路供用開始後、対象地域で電波障害が発生した場合は、本環境監視計画とは別に調査を実施することを考えている。

委 員：監視計画の見直しの目処はどのように考えているか。

事務局：水環境については、供用後のデータを1年程度取得した上で、見直しを図りたいと考えている。

第6回 東京国際空港再拡張事業に係る環境監視委員会 議事概要

委員：環境監視委員会はいつまで開催するのか。

事務局：航空局が実施する監視項目（大気関係等）については、環境影響評価書において予測時期とした昼間の定期便の容量限界である40.7万回／年の発着時期までと考えている。なお、国土交通省成長戦略会議では、平成25年度中に見込まれているため、資料整理期間を考慮して最短で平成26年度までと考えている。

委員：流況について、風の塔付近（川崎人工島）にモニタリングポストが設置されている。また、水質については、東京湾一斉調査が実施されている。これらのデータも活用し、検討されたい。

事務局：上記データも活用し、監視をしていく。

委員：暗環境調査については、簡便な方法で構わないので、堆積状況について、監視項目に入れて頂きたい。

事務局：堆積状況については、計画書の調査項目として記載する。また、実施方法については、ジャケット部の横桁等、定点を決め、堆積厚を計測していく。

3-3 今後の予定について

事務局：未報告の監視結果を含め、工事期間中の監視結果をとりまとめ、12月に総括として報告する予定である。また、供用後の監視結果については、1年間のデータを取得した来年の10月頃を目処に予定している。

4. 閉会挨拶

(了)